Press Release

2016年9月9日
株式会社 ディー・ディー・エス
www.dds.co.jp

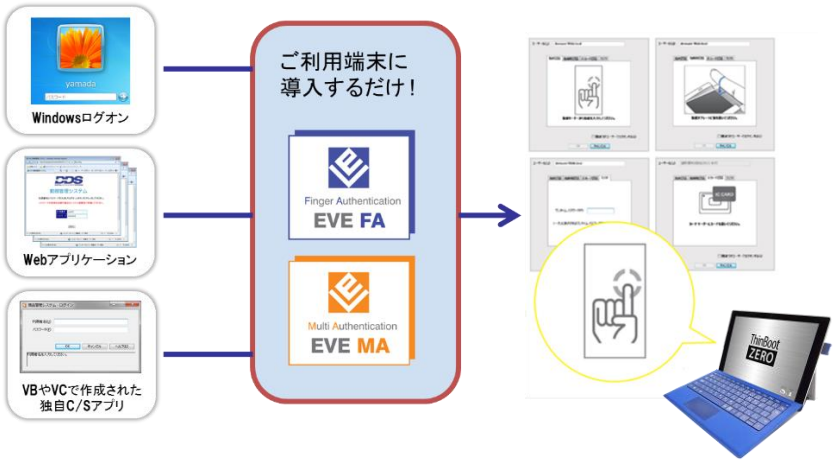
「UBF-Hello」と「EVE シリーズ」をシンクライアント専用端末のオプション機能として エス・アンド・アイよりキャンペーン価格で提供開始

～「Windows 10」生体認証機能をサポートする事により
セキュアで効率的なワークスタイルの実現に貢献～

指紋認証を始めとした様々なセキュリティ・ソリューションを提供する株式会社ディー・ディー・エス（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：三吉野 健滋。以下、DDS）は、指紋認証ユニット「UBF-Hello」を、シンクライアント専用端末『ThinBoot ZERO Type M』の認証オプションとして「EVE シリーズ」と組合せ、2016年9月9日より年末までキャンペーン特別価格にてエス・アンド・アイ株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長：藤田和夫。以下、エス・アンド・アイ）より提供開始いたします。

世界的なサイバーセキュリティー対策の流れ、先般施行されたマイナンバー制度、モバイルデバイスの劇的な増大、及びクラウドサービスの本格的な普及により、セキュリティと利便性の観点から、生体認証機能のニーズが急速に高まっています。自治体情報システム強靭性向上モデルを皮切りに金融や医療、製造業界においても生体認証基盤をベースとしたモバイル端末による効率的なワークスタイルの実現が求められております。

これを受け、ディー・ディー・エスは、Microsoft Surface Pro 4 用にデザインされた指紋認証ユニット「UBF-Hello」を、Microsoft Surface をベースにしたシンクライアント専用端末『ThinBoot ZERO Type M』の認証オプションとして多要素認証基盤「EVE MA」及び2要素認証基盤「EVE FA」と組合せ、2016年9月8日より年末までキャンペーン特別価格にてエス･アンド･アイより提供することを発表いたします。『ThinBoot ZERO Type M』の認証オプションとして「UBF-Hello」を利用いただく事により、生体認証とシンクライアント端末によりセキュアで利便性の高い環境が実現し、端末の社外持出利用に最適化されたビジネス環境を構築する事が可能となります。



また、9月8日から東京国際フォーラムにて開催される金融国際情報技術展 FIT2016 において、日本マイクロソフト社ブースにて本ソリューションを展示予定です。

http://www.nikkin.co.jp/fit2016/

DIGITALDEVELOPMENTSYSTEMS

Press Release

≪株式会社ディー・ディー・エスについて≫

当社は、2012年に設立されたオンライン認証の標準化団体FIDOアライアンスに、日本企業として初めて加盟し’バイバイパスワードの世界’の実現に向け、さまざまな認証課題を解決できる、携帯可能なワイヤレス生体認証機器の開発を進めてきました。FIDOに準拠した生体認証デバイスとして機能するmagatama及び認証局サービスmagatamaプラットフォームによりスケーラブルで安全な認証サービスを実現します。 “magatama”デバイス、スマートフォンアプリ、次世代オンライン認証の標準規格であるFIDO 準拠のサーバーで構成される“magatama”プラットフォームにより、本人認証の世界を広げるコンセプトを実現します。

≪エス・アンド・アイ株式会社について≫

エス・アンド・アイは、1987 年の設立から現在に至るまで、企業やデータセンターにおける ICT 基盤の統合／仮想化、IP テレフォニー、コンタクトセンターのシステム構築、さらに各種ミドルウェア・アプリケーションの開発など、つねにお客様が求めるシステムの構築、運用技術を磨いてまいりました。昨今ではスマートデバイス活用を中心とした各種サービスやソリューション、IoT 分野やビッグデータ分析にも注力し、これまで蓄積した技術を活用し、よりお客様の事業を支援するソリューション、サービスの提供を行っています。
エス・アンド・アイ Web サイト:http://sandi.jp

≪本件に関するお問い合わせ先≫

株式会社ディー・ディー・エス
バイオ営業部（TEL：03-3272-7900）
Email：sales@dds.co.jp

[注]
Microsoft、Surface は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
プレスリリースに掲載されている内容、サービス／製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、プレスリリースにおける計画、目標などはさまざまなリスクおよび不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください